「ヨーロッパの響き」感じて

あきる野市のルピアホールで二つのクラシックコンサートが開かれる。一つはフランスから来日するパトリシア・パニーさんのピアノコンサート。もう一つは、あきる野出身のビオラ奏者・小林秀子さんが一員で、ドイツを拠点に活動する「ベートーベン・カルテット」が出演。コンサートをプロデュースした小金井市の小川幸代さん（60）は「ピアノと弦、ヨーロッパの響きを感じて」と話している。

パトリシア・パニー ピアノコンサート　13日

小川さんは約10年前、ドイツで「ドイツにおける日本年」が開催された時、森山良子さんを現地に招いてコンサートを行った経験がある。

当時、コンサートのコーディネートをするのは初めてで、しかも海外。小川さんは度重なるトラブルに四苦八苦しながらも、企画について粘り強く現地と交渉。コンサートを無事成功させた。

以来、アーティストの演奏と人柄にほれ込むと、その活動の手助けをする演奏会を自ら企画し開催している。

パトリシア・パニーさんもその一人。「フランスの宝石と称され、美しい音色で色彩豊かなピアニスト」と小川さん。共通のドイツ人の友人がいたことから親しくなり、日本でのコンサートを手がけるようになった。

今回のプログラムはメジャーな曲ではないというが、小川さんは「聞いたことのない曲でも、素晴らしい曲があるんだという

あきる野で2つの演奏会
地元出身ビオラ奏者 日・仏の合同演奏も

握手をする小川さん（左）と小林さん

コンサートに、小林さんの友情出演が決定。2人の共演が実現する。

「ぜひ日本で演奏したい」という小林さんの仲間も加わり、27日はベートーベン・カルテットが出演。小林さんは「日本で4人で演奏するのは初めて。観客のみなさんの表情を近くに見られるこのホールでの演奏が楽しみです」

小川さんは「アットホームなコンサート。コーヒーを味わいながら気軽に音楽に親しんでほしい」と話している。

ベートーベン・カルテット　27日

一方、ドイツ在住の小林さんは、松本で開催のサイトウ・キネン・オーケストラに参加するため来日することに。久しぶりの里帰りとあって、地元のルピアホールで演奏会を開く計画が進められていた。

そんな中、ルピアを運営する秋川綜合開発の二ノ宮和寛さん（60）が、小川さんに小林さんを紹介したところ、2人は意気投合。小林さんのカルテットの仲間とパトリシアさんに共通の友人がいることも判明した。急きょ、13日のパトリシアさんの

◇

「パトリシア・パニー　ピアノコンサート」＝13日14時。ベートーベン「ソナタ　ニ長調『田園』」、シューマン「謝肉祭」など▼「ベートーベン・カルテット」＝27日14時。ベートーベン「弦楽四重奏　イ短調」、メンデルスゾーン「弦楽四重奏第2番　イ短調」など。いずれもあきる野ルピアホール（秋川駅北口）。自由2000円。あきる野ルピア主催。チケットはルピアカウンターで販売するほか、電話で予約を。042―550―4700ルピア。

Asahi Towns Weekly News Paper
Asahi Shimbun sisters paper
03.09.09